

# 2024年3月期 決算説明会

これからも、彩る世界をあなたと共に



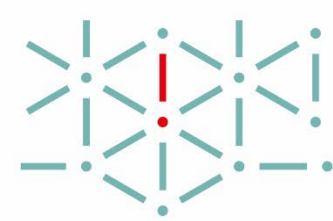
## 東京インキ株式会社

(証券コード：4635 東証スタンダード市場)

2024年5月30日開催

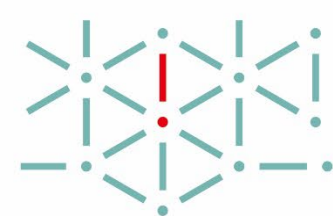
**TOKYO** ink





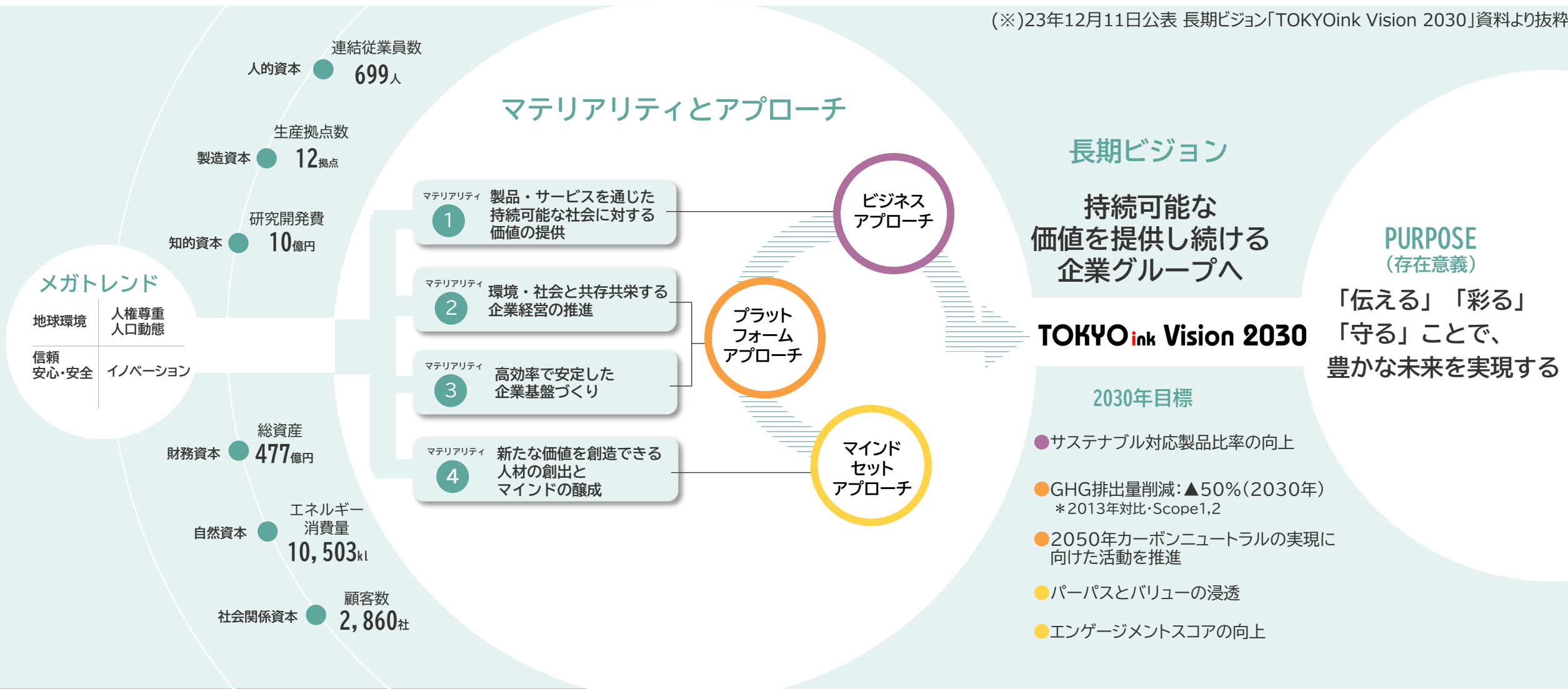
# 本日の内容

1. 長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」策定について 【P2】
2. 24年3月期 連結業績ハイライト 【P3 ~ P7】
3. 24年3月期 通期連結業績予想と実績との差異（23年5月15日公表値比） 【P8】
4. 24年3月期 セグメント別業績サマリー 【P9 ~ P13】
5. 24年3月期 その他連結決算情報 【P14 ~ P15】
6. 株主還元 【P16】
7. 次期業績予想 【P17 ~ P20】



# 1. 長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」策定について

(※)23年12月11日公表 長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」資料より抜粋



## 2. 24年3月期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

### ● 増収減益の決算

- ✓ 前年度より各事業の取引条件が改善され、売上高は増収、営業利益も改善され増益
- ✓ 経常利益は前年度の出資分配益による営業外収益がなくなり、減益
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は前年度に特別損失に計上した減損損失のマイナス要因がなくなったものの、最終減益

	23年3月期	構成比 (%)	24年3月期	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	業績予想 24年4月26日公表値	増減額	増減率 (%)
売上高	43,406	100.0	43,922	100.0	+516	+1.2	43,900	+22	+0.1
売上原価	37,544	86.5	37,431	85.2	▲ 113	▲ 0.3	-	-	-
売上総利益	5,861	13.5	6,490	14.8	+629	+10.7	-	-	-
販売費及び一般管理費	5,883	13.6	5,722	13.0	▲ 161	▲ 2.7	-	-	-
営業利益 (損失▲)	▲ 21	▲ 0.1	768	1.8	+790	-	760	+8	+1.1
営業外損益	4,805	11.1	218	0.5	▲ 4,587	▲ 95.5	-	-	-
経常利益	4,783	11.0	986	2.2	▲ 3,797	▲ 79.4	980	+6	+0.7
特別損益	▲ 2,034	▲ 4.7	152	0.3	+2,187	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,645	3.8	881	2.0	▲ 764	▲ 46.4	880	+1	+0.2

## 2. 24年3月期 連結業績ハイライト

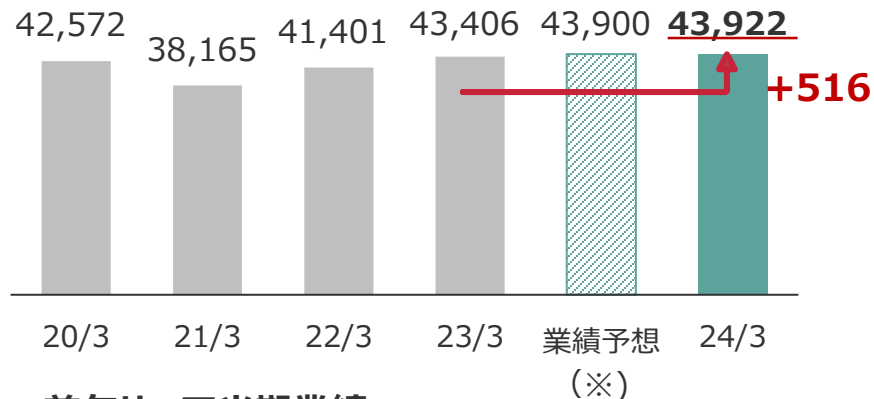
(単位：百万円)

売上高

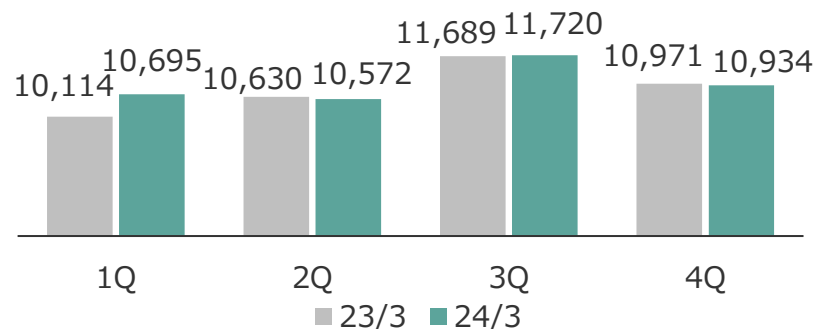
**43,922**百万円

前年比 **+516**百万円 (+1.2%)  
 業績予想比 **+22**百万円 (+0.1%)  
 (※)

### ●売上高 推移

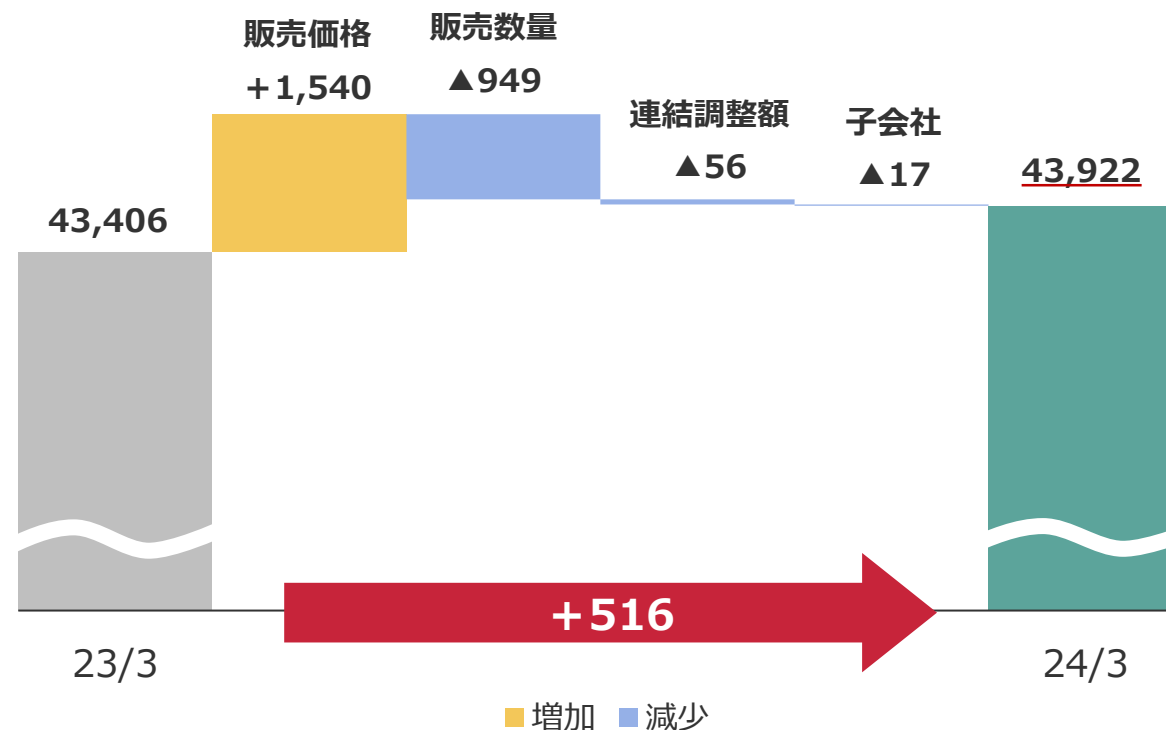


### ●前年比 四半期業績



### 前年比 増減要因

- ✓ 主な増収要因は、原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対する製品価格改定が進捗したことによる販売価格の増加で、特にインキ事業のオフセットインキが大きく寄与
- ✓ 一方で、物価高に伴う消費マインドの冷え込みや、化成品事業の脱プラスチックの加速等、環境対応の影響もあり販売数量は減少



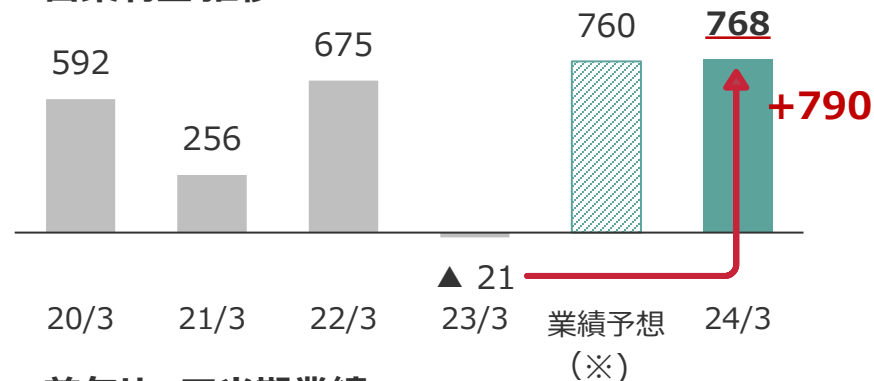
# 2. 24年3月期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

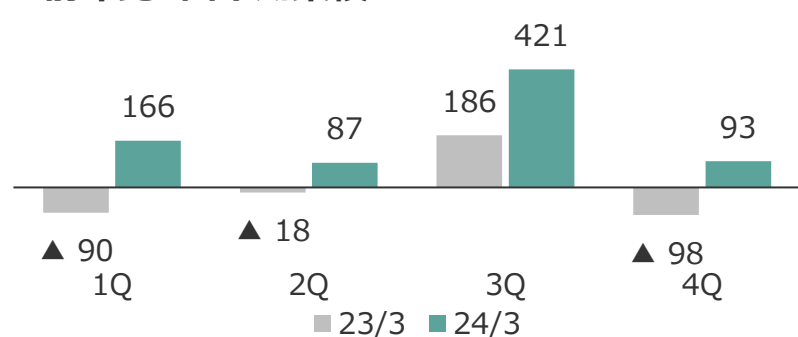
営業利益

768百万円  
 前年比 +790百万円 ( - %)   
 業績予想比 +8百万円 (+1.1 %)   
 (※)

● 営業利益 推移

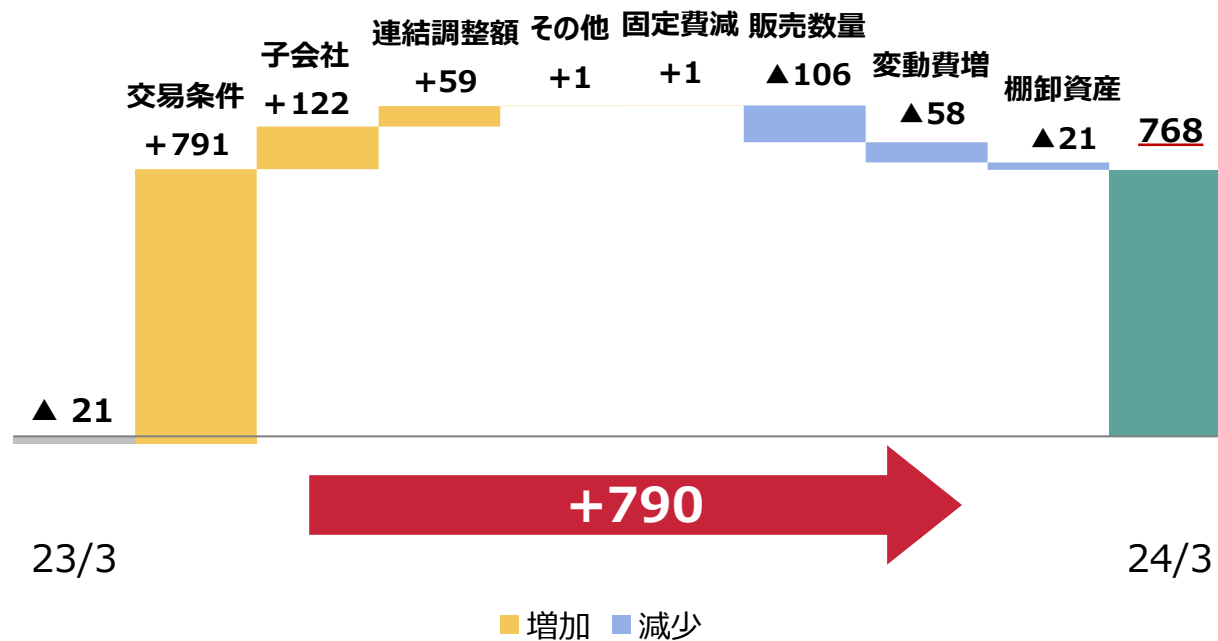


● 前年比 四半期業績



前年比 増減要因

- ✓ 主な増益要因は、原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対する製品価格改定が進捗したことによる取引条件の大幅な改善で、増収要因と同じく、特にインキ事業のオフセットインキが寄与
- ✓ 円安影響もあり、タイ、上海等の海外連結子会社の業績好調も増益
- ✓ 一方で、物価高に伴う消費マインドの冷え込みや、化成品事業の脱プラスチックの加速等、環境対応の影響もあり販売数量は減少し、変動費も物価高に伴い増加



## 2. 24年3月期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

### 前年比 増減要因

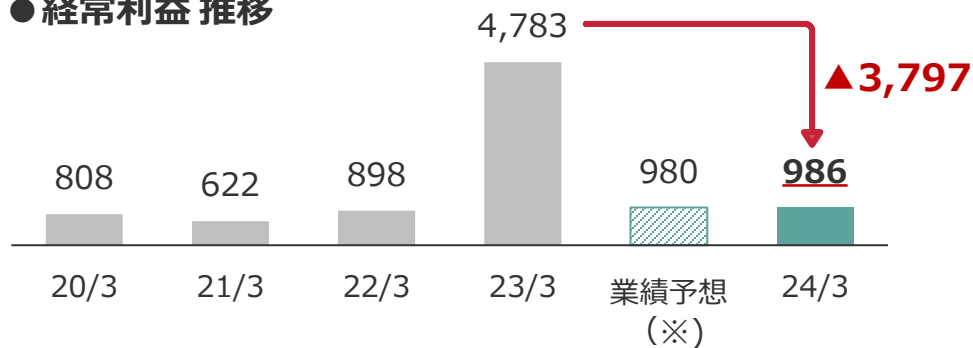
- ✓ 円安影響による外貨建資産に係る為替差益や政策保有株式の売却益による増益効果、前年度の減損損失計上がなくなった一方、米国連結子会社の出資分配益計上がなくなり、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は減益

### 経常利益

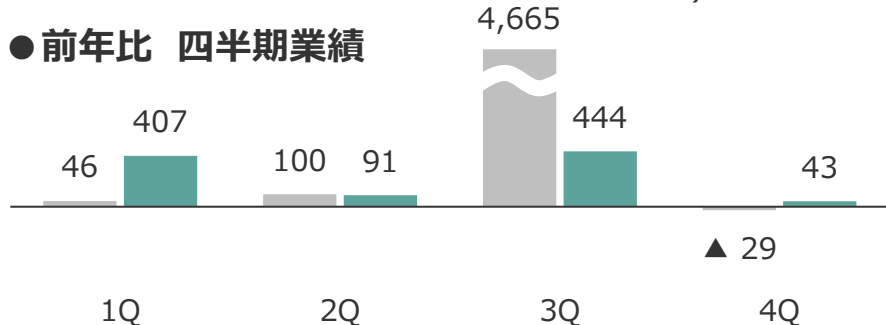
**986**百万円

前年比 **▲3,797**百万円 (▲79.4%)  
 業績予想比 **+6**百万円 (+0.7%)  
 (※)

#### ● 経常利益 推移



#### ● 前年比 四半期業績

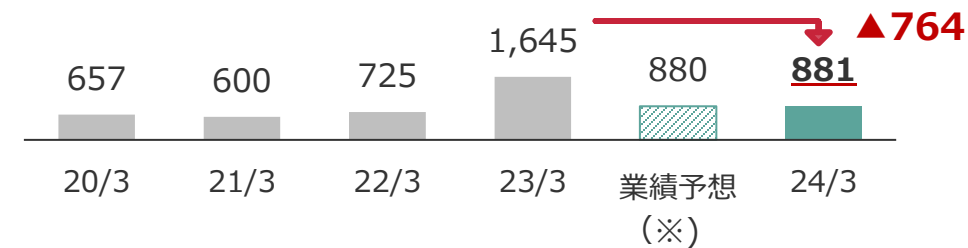


### 親会社株主に帰属する当期純利益

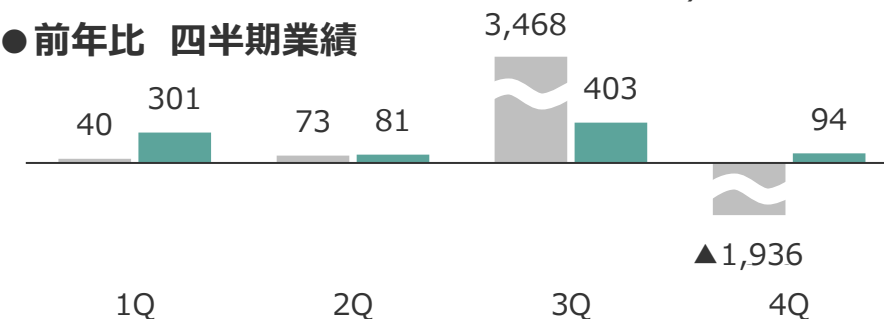
**881**百万円

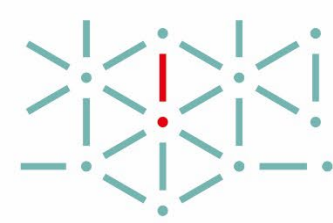
前年比 **▲764**百万円 (▲46.4%)  
 業績予想比 **+1**百万円 (+0.2%)  
 (※)

#### ● 親会社株主に帰属する当期純利益 推移



#### ● 前年比 四半期業績





### 連結子会社における火災事故の発生

23年12月20日、16時41分頃、当社の連結子会社である荒川塗料工業(株)にて火災事故が発生し、同日21時03分鎮火いたしました。この火災により、近隣の皆様をはじめ、株主・投資家の皆様、関係者の皆様にご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

- 本火災事故の発生を受け、当社において「荒川塗料工業株式会社火災事故調査委員会」を設置  
火災事故調査委員会より本火災事故の発生原因の究明および再発防止策について、事故調査報告書として受領  
⇒詳細は24年4月26日開示「当社連結子会社（荒川塗料工業株式会社）の火災に関するお知らせ（第5報）」に記載

人的被害	軽傷者1名
物的被害	24年3月期における被害額 合計99百万円 (建物85百万円、その他有形固定資産1百万円、棚卸資産4百万円およびその他7百万円)
連結業績への影響	24年3月期の連結決算において、上記99百万円を火災による損失として特別損失に計上 なお、保険金受取額は未確定であることから保険金収入は計上無し



### 3. 24年3月期 通期連結業績予想と実績との差異 (23年5月15日公表値比)

#### ●当初 (23年5月15日) 公表値との差異

	通期業績予想 23年5月15日 公表値 (A)	通期業績予想 24年4月26日 公表値 (B)	実績 24年3月期 (C)	差額 (C)-(A)
売上高	47,400	43,900	43,922	▲3,477
営業利益	1,000	760	768	▲231
経常利益	1,130	980	986	▲143
親会社株主に帰属する 当期純利益	870	880	881	+11

#### ●差異要因

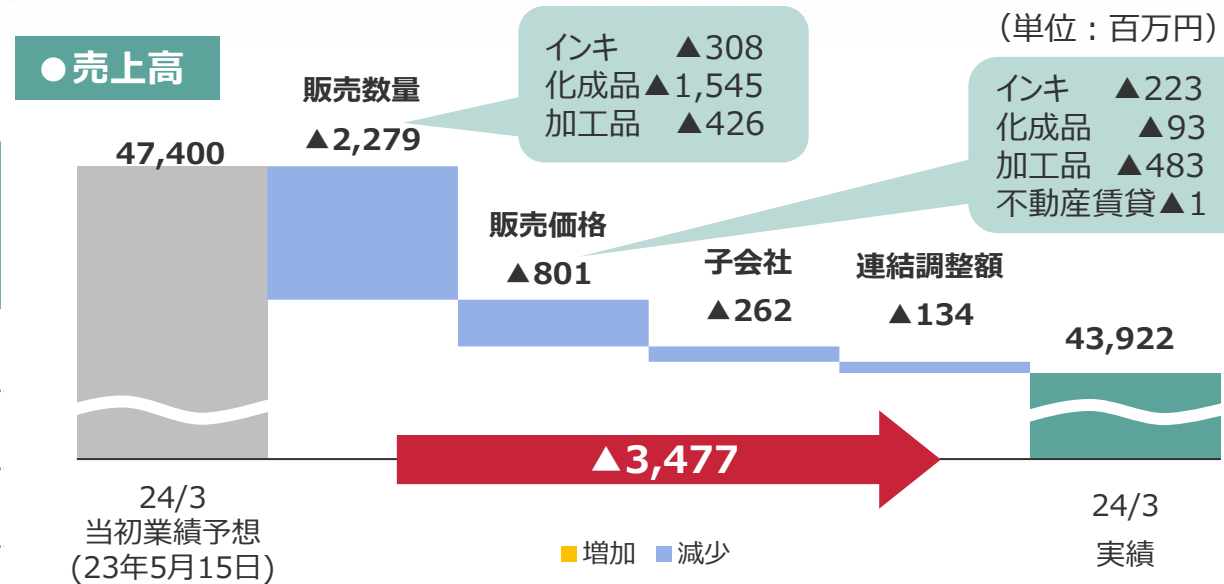
##### 売上高

各事業において製品の販売価格改定が一定程度進捗したものの、物価高に伴う消費マインドの低下や第4四半期における国内自動車生産台数減少の影響等、特に化成品事業の販売数量の減少が大きく、当初公表値を下回る結果

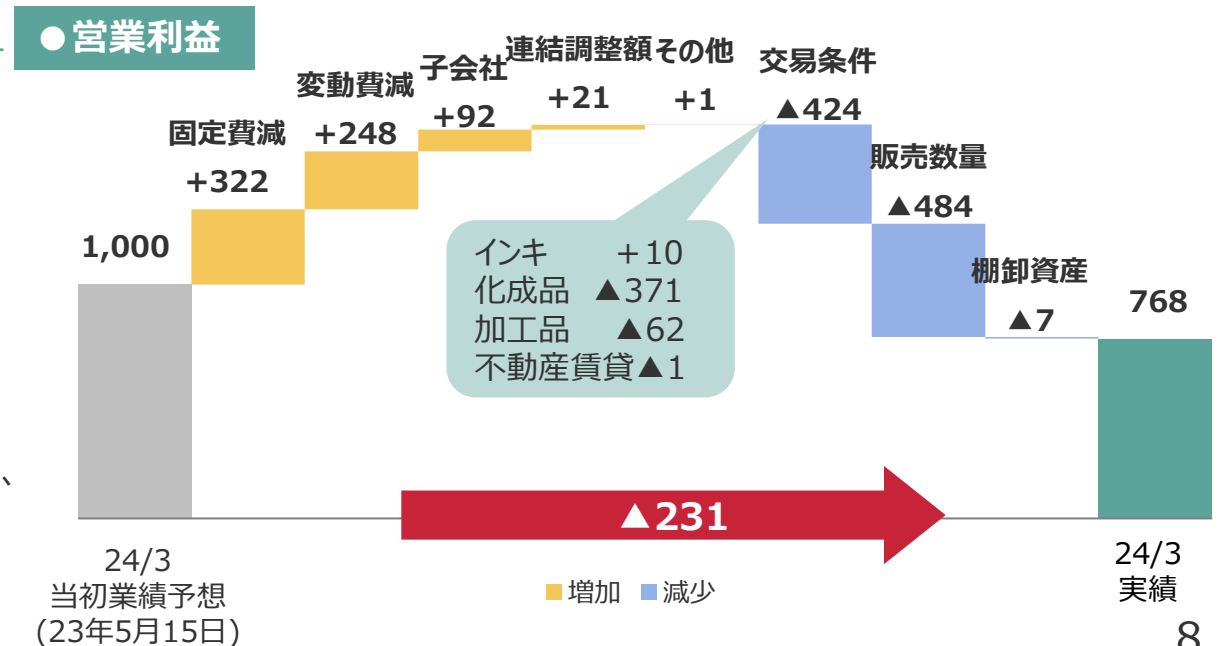
##### 営業利益

オフセットインキの製品価格改定や、グラビアインキにおける機能性インキおよび土木資材における防災・減災用途製品が伸長したものの、各事業における減収要因が大きく、当初公表値を下回る結果

#### ●売上高



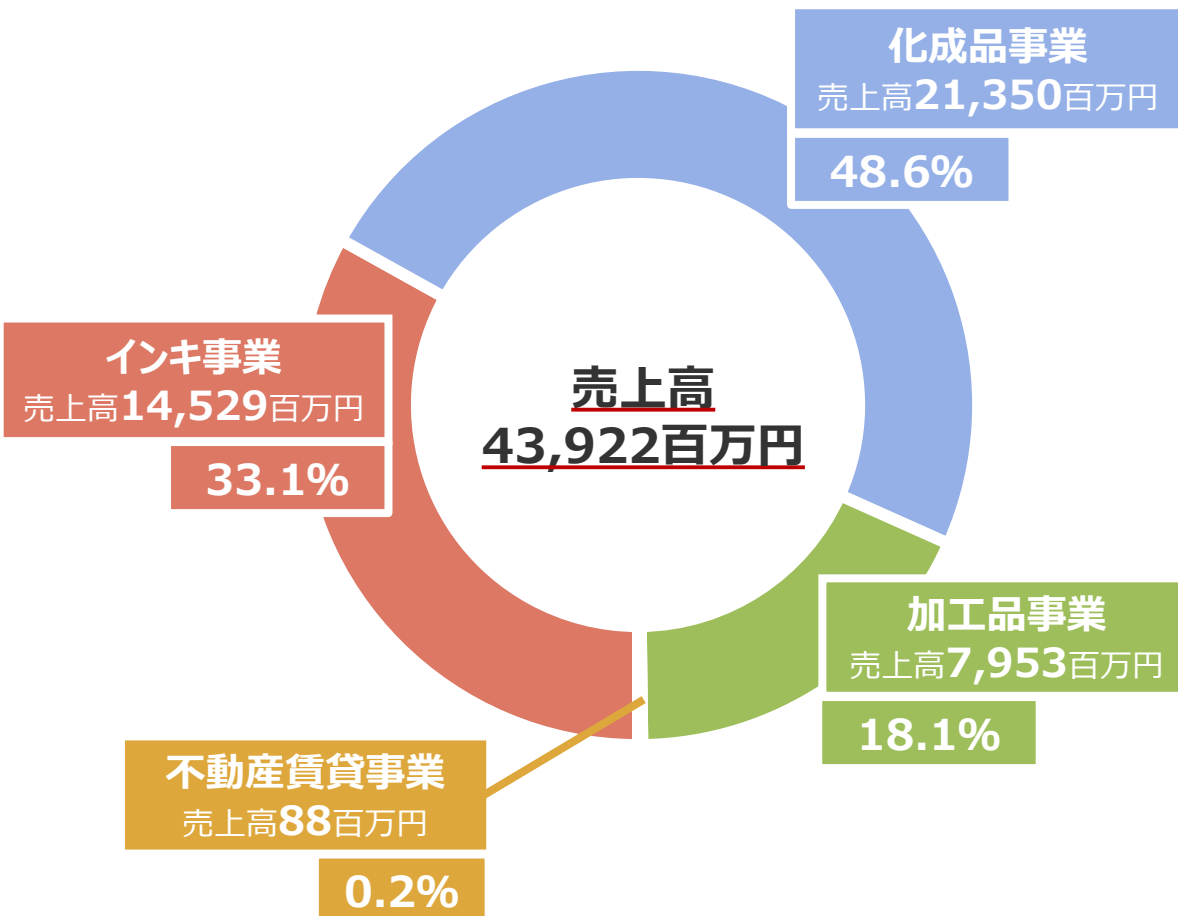
#### ●営業利益



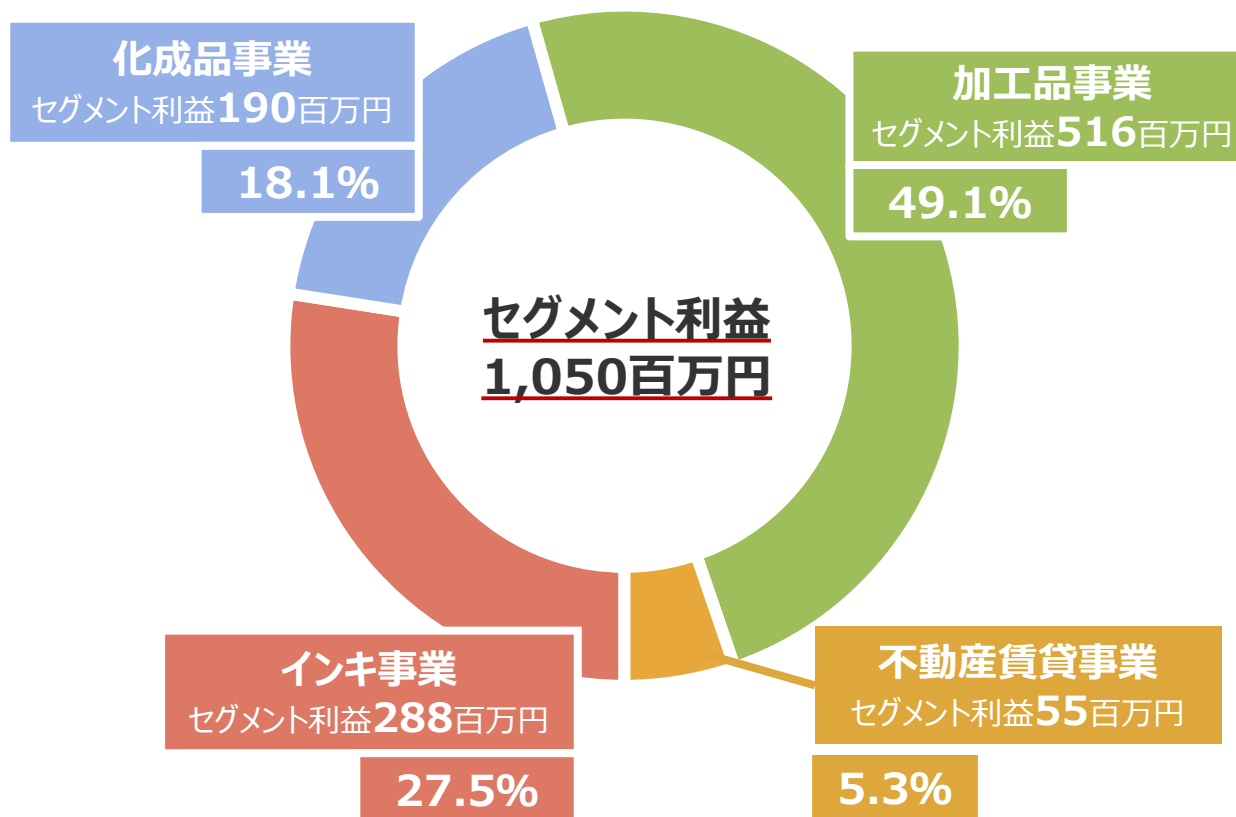
# 4. 24年3月期 セグメント別業績サマリー

(単位：百万円)

## ●売上高 構成比



## ●セグメント利益 構成比

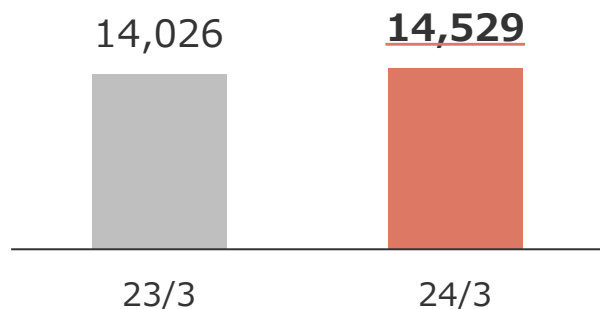


# 4. 24年3月期 インキ事業

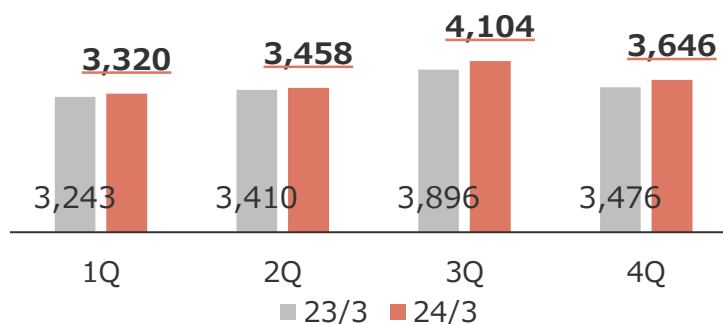
(単位：百万円)

売上高 **14,529**百万円 前年比 **+503**百万円 (+3.6%)  
 セグメント利益 **288**百万円 前年比 **+962**百万円 (-%)

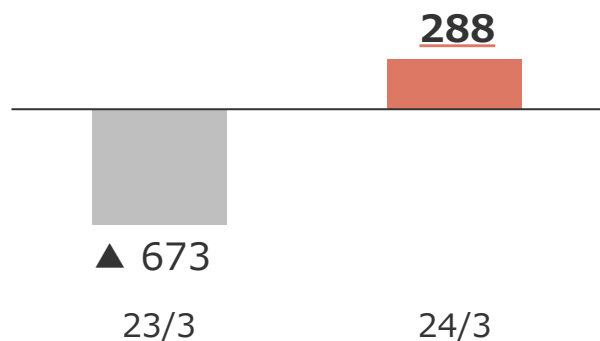
●売上高 前年比



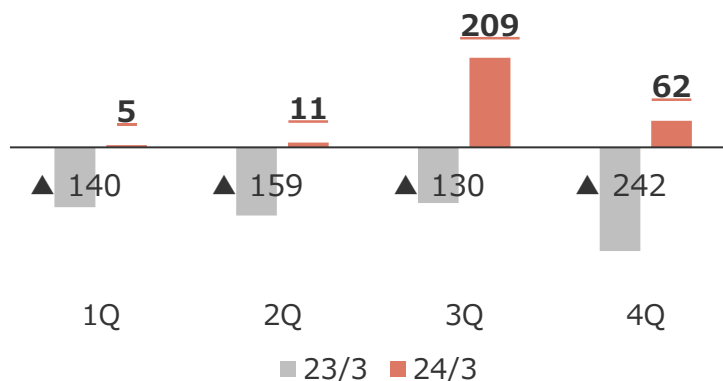
●売上高四半期推移 前年比



●セグメント利益(損失▲) 前年比



●セグメント利益(損失▲)四半期推移 前年比



オフセットインキ

業績影響

商業印刷需要回復  
⇒ 行動制限解除に伴う各種イベント増加



製品販売価格改定



固定資産減損処理 (前期末) による  
減価償却費減少



グラビアインキ

業績影響

物価高に伴う消費意欲低下



製品販売価格改定



環境配慮製品・機能性インキ



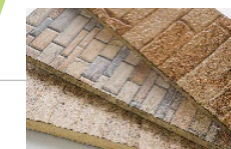
インクジェットインキ

業績影響

欧米向け受託製品需要



建材用途等自社製品



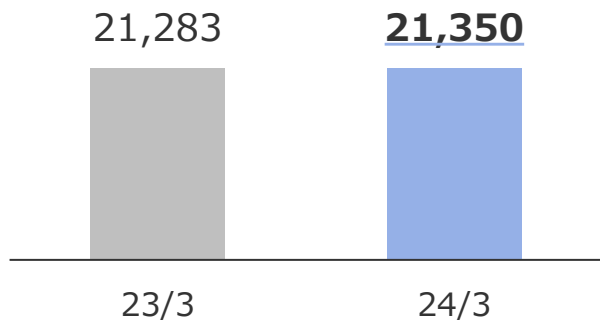
# 4. 24年3月期 化成品事業

(単位：百万円)

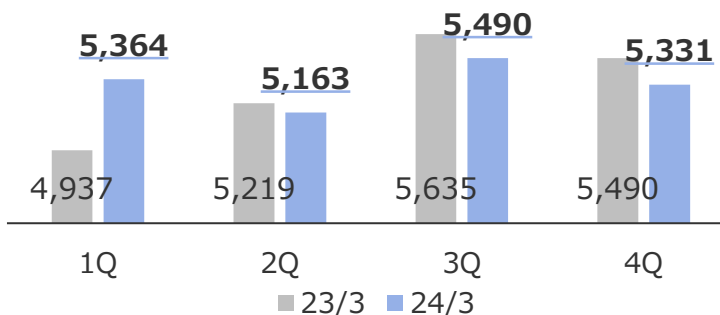
売上高 **21,350**百万円 前年比 **+67**百万円 (+0.3%)  
 セグメント利益 **190**百万円 前年比 **▲228**百万円 (▲54.5%)

マスターバッチ・樹脂コンパウンド	業績影響
自動車用途	↑
需要回復 ⇒ 国内自動車生産台数増加	
包装材・容器用途	↓
物価高に伴う消費意欲低下	
環境対応影響 ⇒ プラスチック製消耗材需要	↓

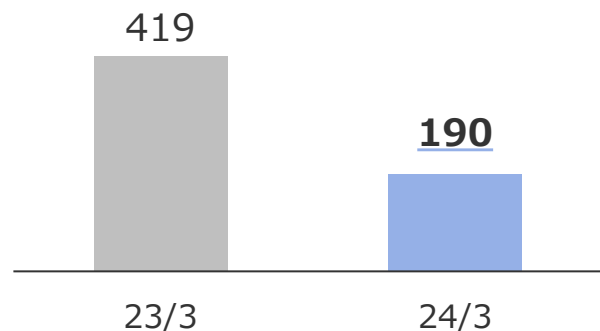
●売上高 前年比



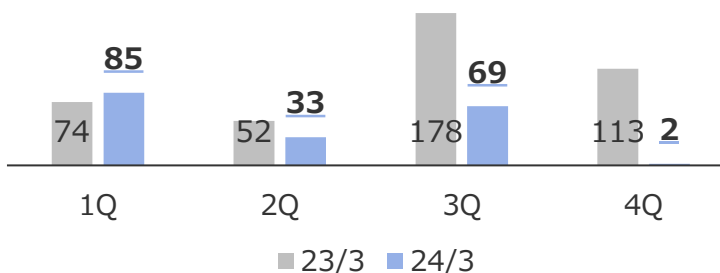
●売上高四半期推移 前年比



●セグメント利益 前年比



●セグメント利益四半期推移 前年比

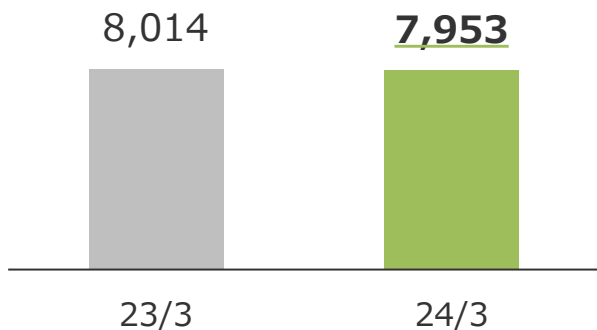


# 4. 24年3月期 加工品事業

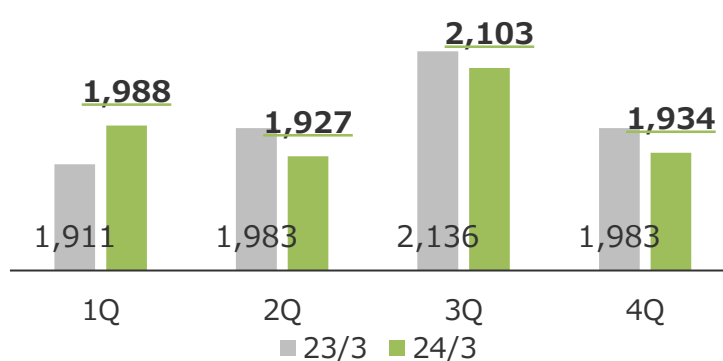
(単位：百万円)

**売上高** 7,953百万円 前年比 ▲60百万円 (▲0.8%)  
**セグメント利益** 516百万円 前年比 ▲8百万円 (▲1.6%)

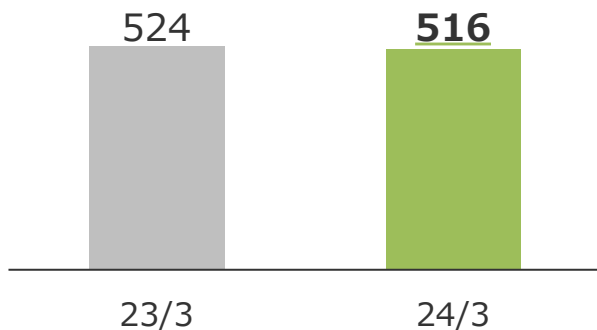
●売上高 前年比



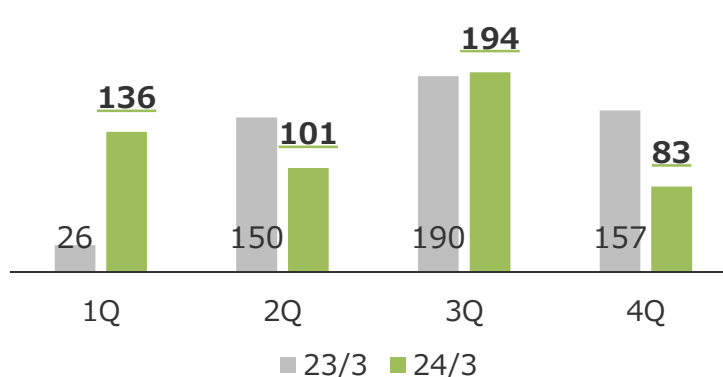
●売上高四半期推移 前年比



●セグメント利益 前年比



●セグメント利益四半期推移 前年比



ネトロン工材		業績影響
水処理用資材輸出需要	→	
ネトロン包材		業績影響
軟包装用途需要	→	
一軸延伸フィルム		業績影響
ダンボール用途需要	↘	
食品包装用途需要	→	
製品販売価格改定	→	
土木資材		業績影響
防災・減災用途（ジオセル工法）需要 ⇒ 豪雨災害復興対応	↑	
農業資材		業績影響
高性能製品（保温資材等）需要 ⇒ 燃油価格上昇対応	↗	

# 4. 24年3月期 不動産賃貸事業

(単位：百万円)

**売上高** 88百万円      前年比 **+6**百万円 (+7.8%)  
**セグメント利益** 55百万円      前年比 **+6**百万円 (+14.1%)

不動産賃貸 業績影響

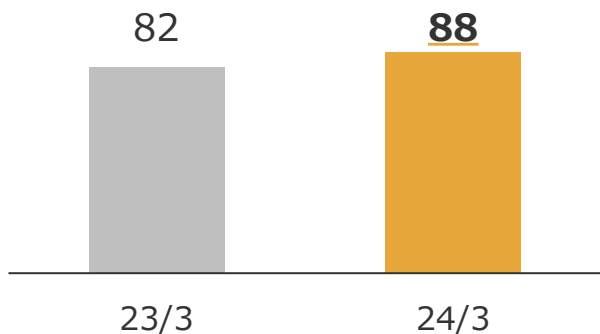
賃貸戸建て住宅「パレットパークタウン」



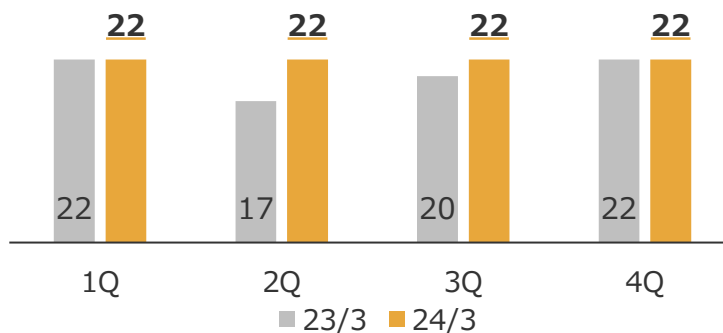
本社ビル賃貸オフィス



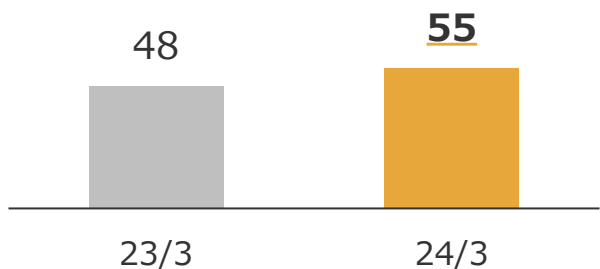
●売上高 前年比



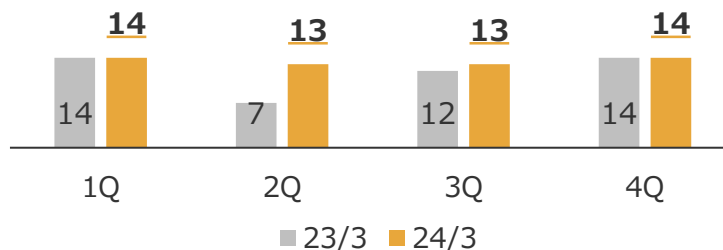
●売上高四半期推移 前年比



●セグメント利益 前年比



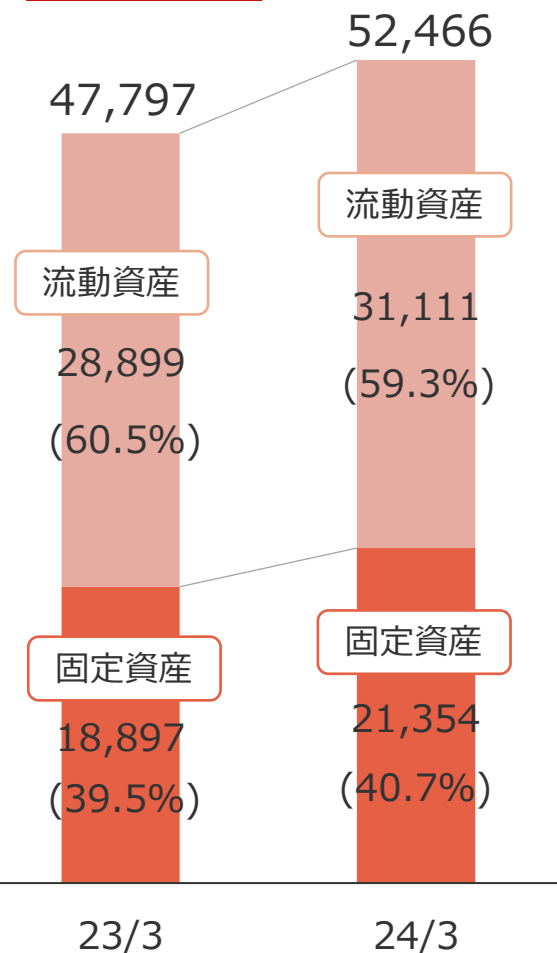
●セグメント利益四半期推移 前年比



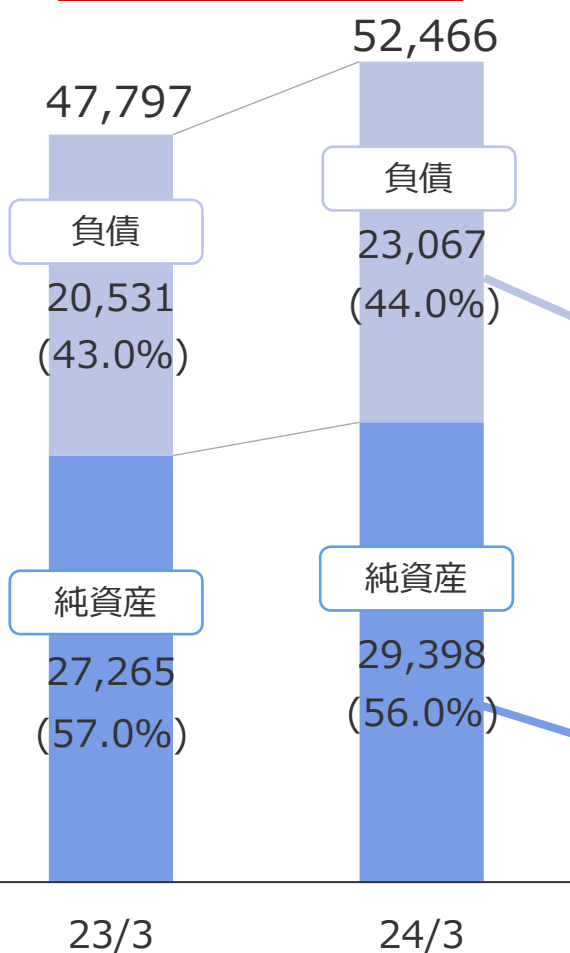
(単位：百万円)

## ✓ 連結貸借対照表

### ●資産の部



### ●負債・純資産の部



### 資産

前期末比+4,669百万円 (+9.8%)

- 流動資産
  - ・現預金等手許流動性の確保継続、円安の加速による外貨預金評価増加
  - ・月末休日影響による売上債権増加
  - ・棚卸資産の増加
- 固定資産
  - ・株式市場好調による保有有価証券の時価評価増加

### 負債

前期末比+2,535百万円 (+12.4%)

- 流動負債
  - ・月末休日影響による仕入債務増加
- 固定負債
  - ・保有有価証券の時価評価増加に伴う繰延税金負債の増加

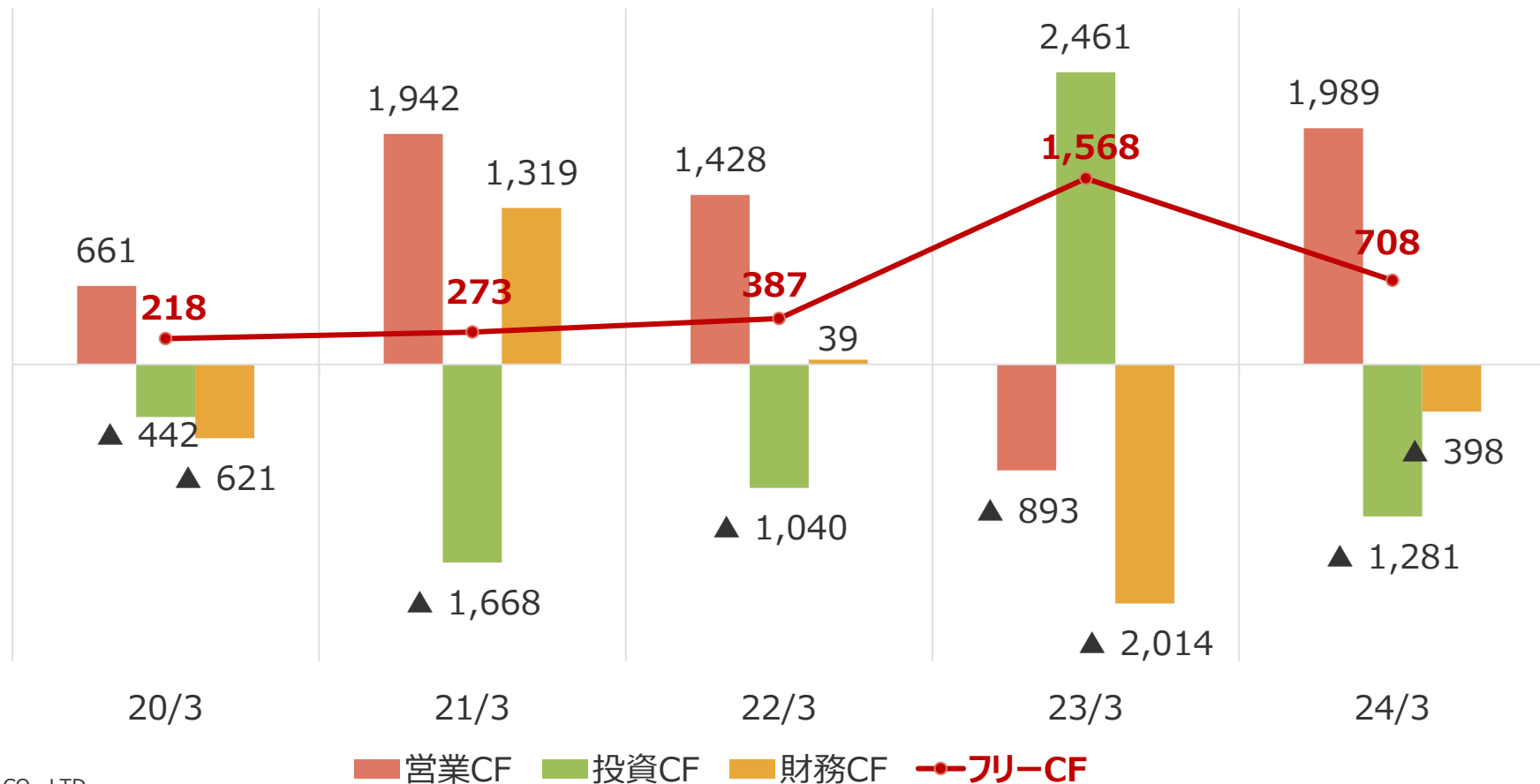
### 純資産

前期末比+2,133百万円 (+7.8%)

- ・交易条件改善による利益剰余金増加
- ・投資有価証券の時価評価増加等によるその他包括利益累計額の増加

## ✓ 連結キャッシュ・フロー

- 前年度は、米国連結子会社出資先からの分配金収入により、投資CF及びフリーCFは大幅なプラス
- 当年度は、販売価格改定等の交易条件改善に伴う営業利益獲得により、営業CFは大幅プラス  
固定資産取得等の投資活動によるキャッシュアウト実行も、フリーCFはプラスを維持





# 6. 株主還元

(単位：円、%)

- 株主価値を中長期的に高めるために、持続的な成長が必要と考え、「資本効率の向上」、「強固な財務基盤の確保」、「株主還元」の3つのバランスを取ることを資本政策の基本としており、安定的かつ継続的な配当実施を基本方針として連結業績に応じた利益配分を踏まえ持続的な株主価値の向上に努めてまいります。

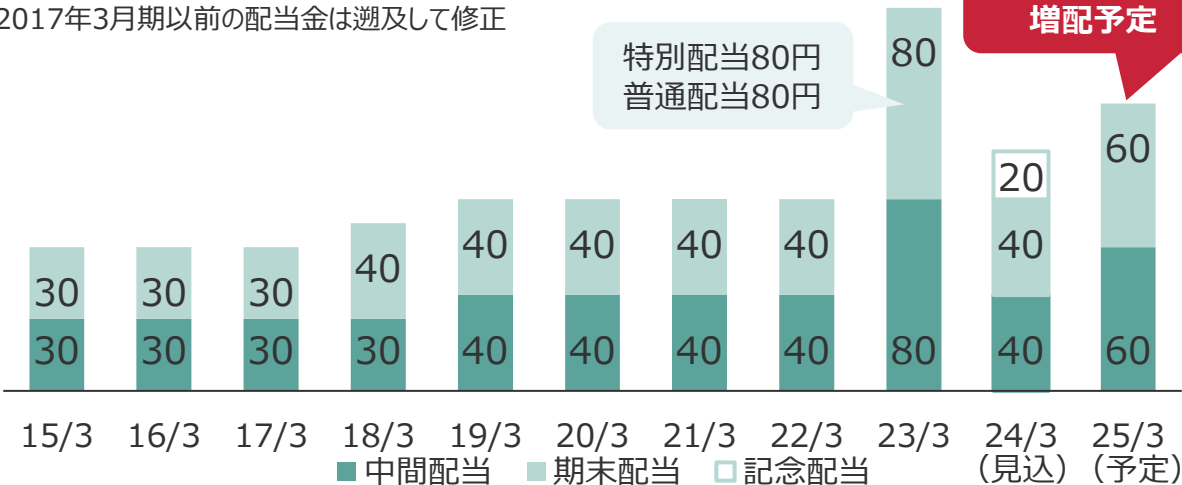


- また、中期経営計画「TOKYOink 2024」における配当方針として配当性向30%以上を目標としておりますが、更なる株主価値向上への取組みとして「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」において、配当性向40%以上またはDOE1.0%以上とする新たな配当方針を策定いたしました。

## 配当金 推移

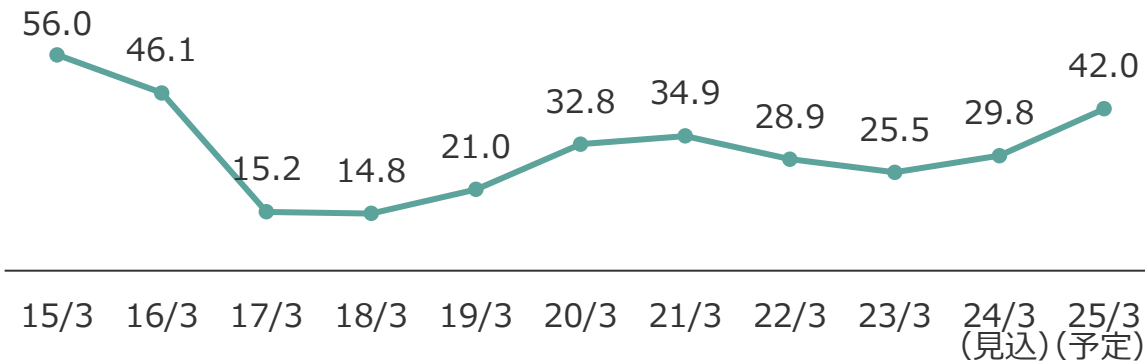
※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施  
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正

年間配当20円  
増配予定



	24年3月期 (見込)	25年3月期 (予定)
中間配当	普通配当 1株当たり40円	普通配当 1株当たり60円
期末配当	普通配当 1株当たり40円	普通配当 1株当たり60円
記念配当	1株当たり20円	-
<b>年間配当</b>	<b>100円</b>	<b>120円</b>

## 配当性向 推移



## 株主優待

毎年3月31日現在当社株式1单元(100株)以上を保有の株主様へオリジナルカード1,000円分、300株以上かつ3年以上保有の場合にはさらにオリジナルカード1,000円分を贈呈

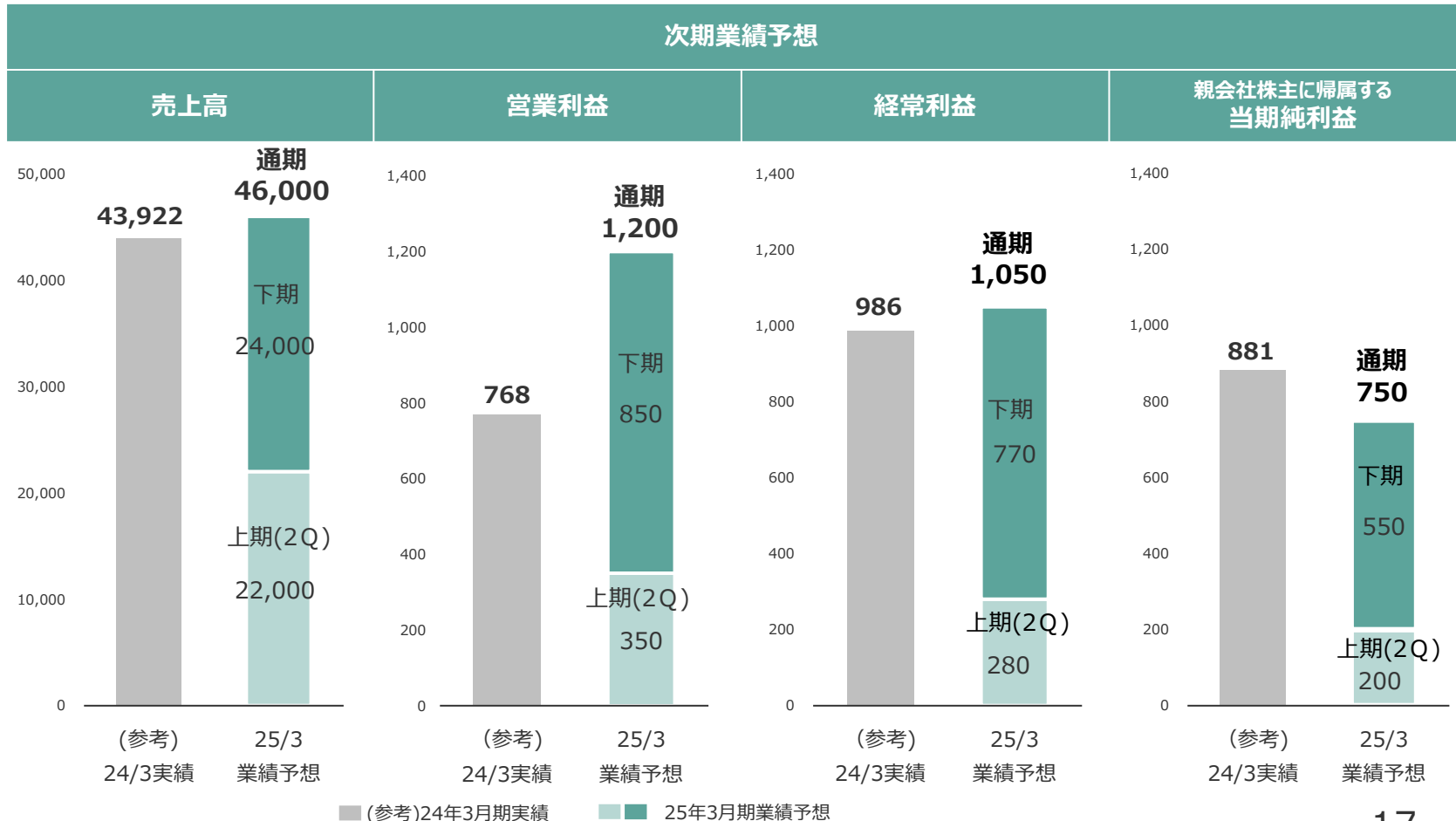


# 7. 次期業績予想

(単位：百万円)

- 中期経営計画「TOKYOink 2024」の2025年3月期営業利益目標は20億円に設定していたが、計画策定当初に比べ、当社グループを取り巻く環境は想定以上に変化していることから、目標達成は難しい状況
- 今後は長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」で掲げているマテリアリティ（重要課題）に取り組むことで当社グループの成長を目指す
- 更なる株主価値向上への取り組みとして「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」において一層の資本収益性向上に向けた計画の策定を実施中
- 施策の検討、準備を進め、次期連結会計年度より開始予定の中期経営計画「TOKYOink 2027」において課題解決に向けた取り組みを推進

	第2四半期 連結業績予想	通期 連結業績予想
売上高	22,000	46,000
営業利益	350	1,200
経常利益	280	1,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	750



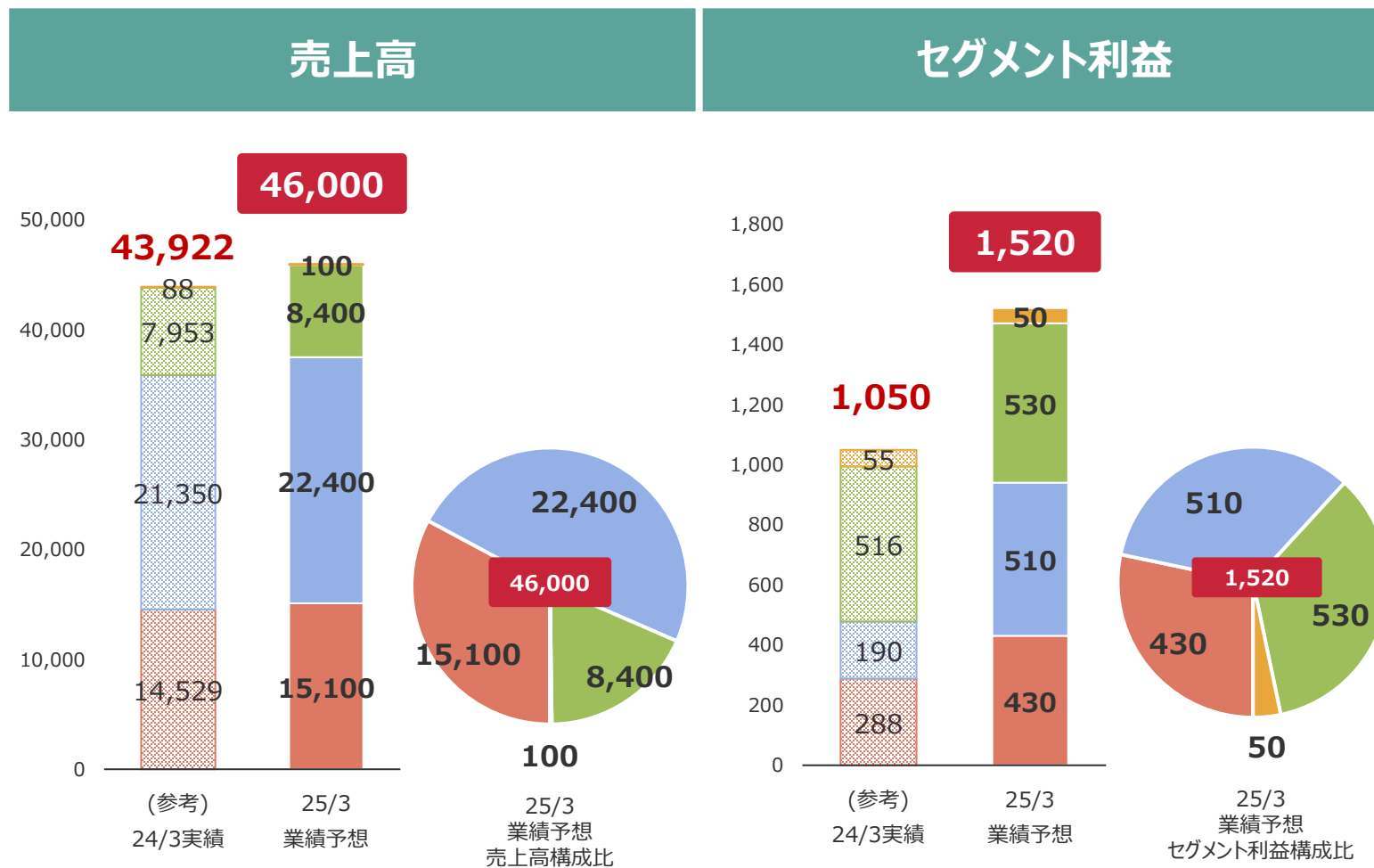
上記業績予想は24年5月14日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります

# 7. 次期業績予想

(単位：百万円)

## ●セグメント別業績予想

次期業績予想 (通期)	売上高	セグメント利益
インキ事業	15,100	430
化成品事業	22,400	510
加工品事業	8,400	530
不動産賃貸事業	100	50
<b>セグメント合計</b>	<b>46,000</b>	<b>1,520</b>
全社費用他		▲320
連結営業利益		1,200



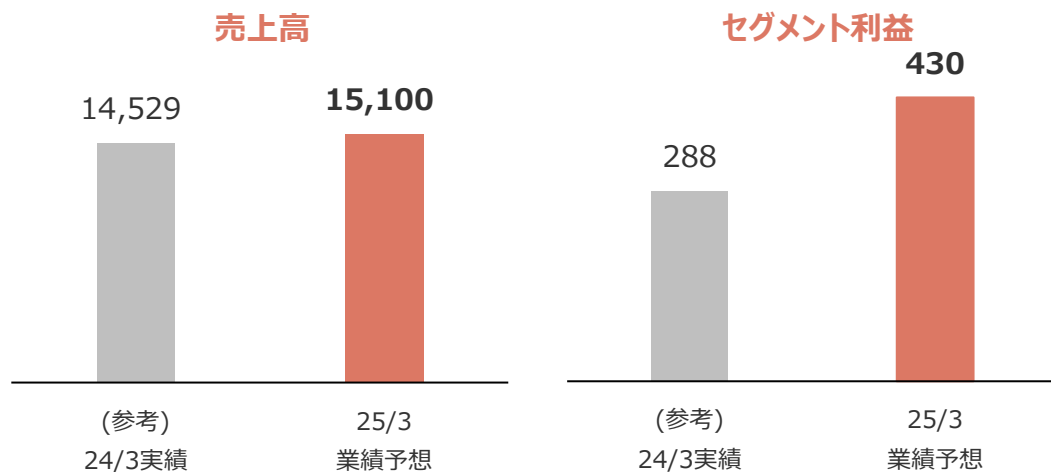
上記業績予想は24年5月14日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります

■ インキ事業 ■ 化成品事業 ■ 加工品事業 ■ 不動産賃貸事業

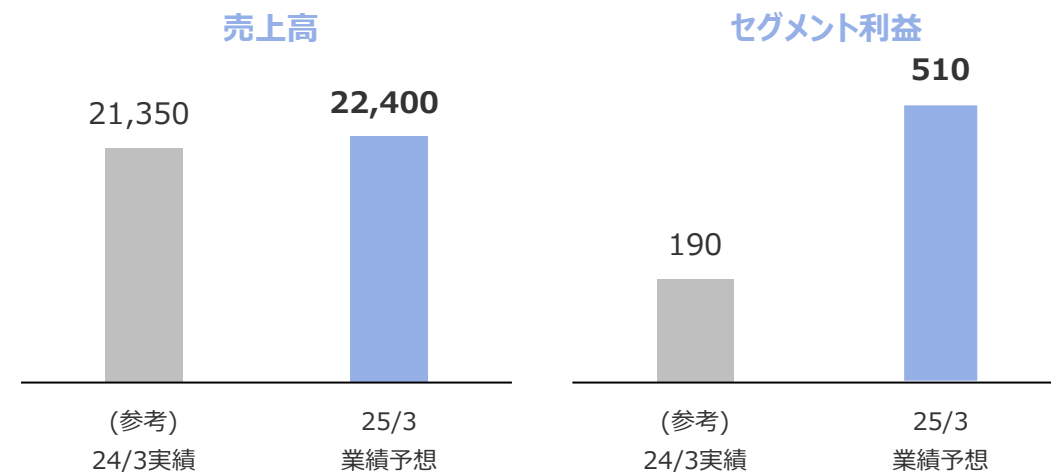
# 7. 次期業績予想

(単位：百万円)

インキ事業	売上高	セグメント利益
通期業績予想	15,100	430



化成品事業	売上高	セグメント利益
通期業績予想	22,400	510



## ●事業の外部環境予測

- ・オフセットインキは構造的な市場縮小が継続
- ・グラビアインキは軟包装分野での堅調な需要が継続
- ・インクジェットインキは中長期的には産業用途の市場が拡大
- ・サステナブル製品の需要が拡大

## ●次期業績予想達成に向けた主な取り組み

- ・原材料価格上昇等に対応した製品販売価格改定実施
- ・サステナブル製品の開発・拡販  
(高バイオマスオフ輪インキ、ライスインキ、機能性コート剤等)
- ・株式会社T&K TOKAグラビア事業承継対応

## ●事業の外部環境予測

- ・国内自動車生産は堅調に推移する見込み
- ・包装用・容器用マスターバッチは環境対応の加速化による市場縮小継続
- ・サステナブル製品の需要が拡大

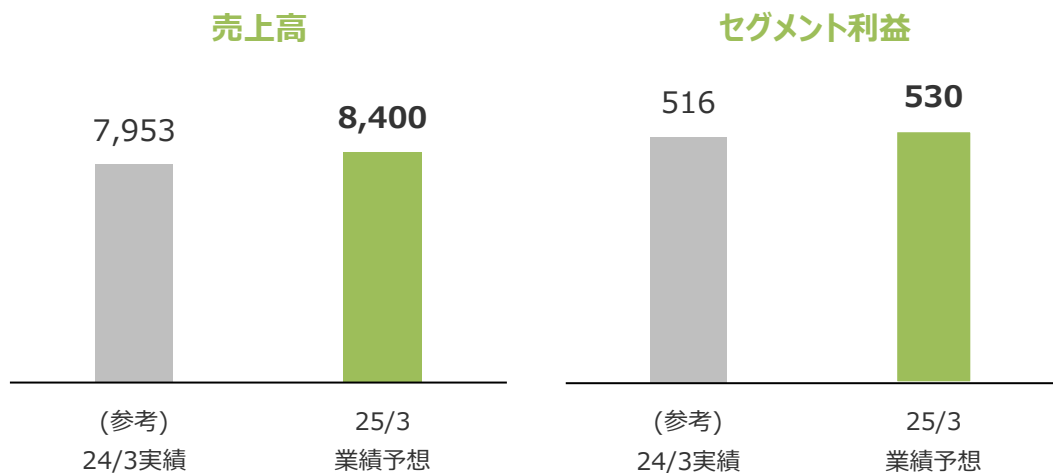
## ●次期業績予想達成に向けた主な取り組み

- ・原材料価格上昇等に対応した製品販売価格改定実施
- ・一部の受託製品における採算是正
- ・サステナブル製品の開発・拡販  
(液状マスターバッチ、バイオプラスチックベースの着色剤、リサイクル材活用の検討等)

# 7. 次期業績予想

(単位：百万円)

加工品事業	売上高	セグメント利益
通期業績予想	8,400	530



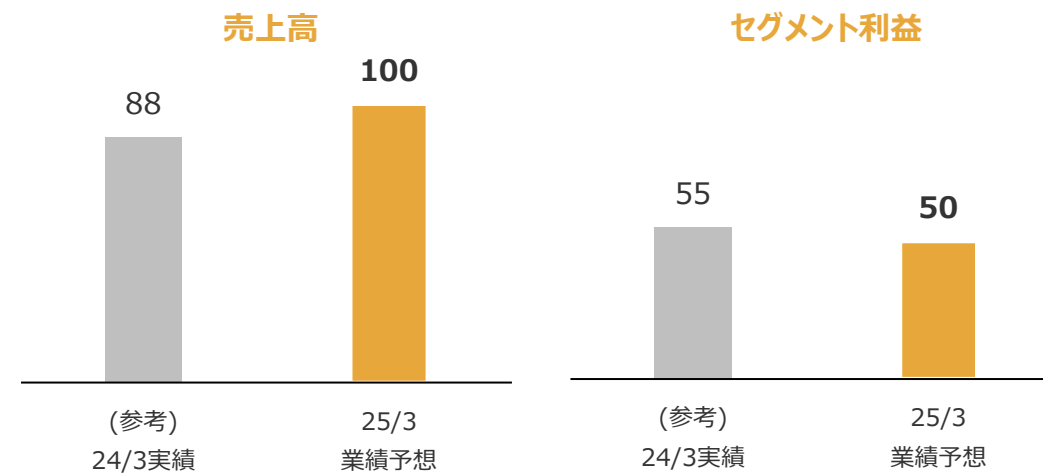
### ●事業の外部環境予測

- ・水処理用資材需要は引き続き市場拡大
- ・土木資材の防災・減災用途は引き続き需要増加
- ・包装資材および農業資材は環境対応の加速化による市場縮小継続
- ・サステナブル製品の需要が拡大

### ●次期業績予想達成に向けた主な取り組み

- ・水処理用資材や土木資材は生産能力増強やサステナブル製品開発・拡販
- ・包装資材や農業資材はサステナブル製品の開発・拡販

不動産賃貸事業	売上高	セグメント利益
通期業績予想	100	50



### ●事業の外部環境予測

安定した事業環境継続



【お問合せ先】 東京インキホームページお問い合わせフォーム  
<https://www.tokyoink.co.jp/contact/>



東京インキ株式会社  
TEL : 03-5902-7652  
E-mail : [tic-ir@tokyoink.co.jp](mailto:tic-ir@tokyoink.co.jp)

**TOKYO**ink  
東京インキ株式会社

# 参考情報

会社概要

事業紹介

ROE・ROS・自己資本比率

D/Eレシオ

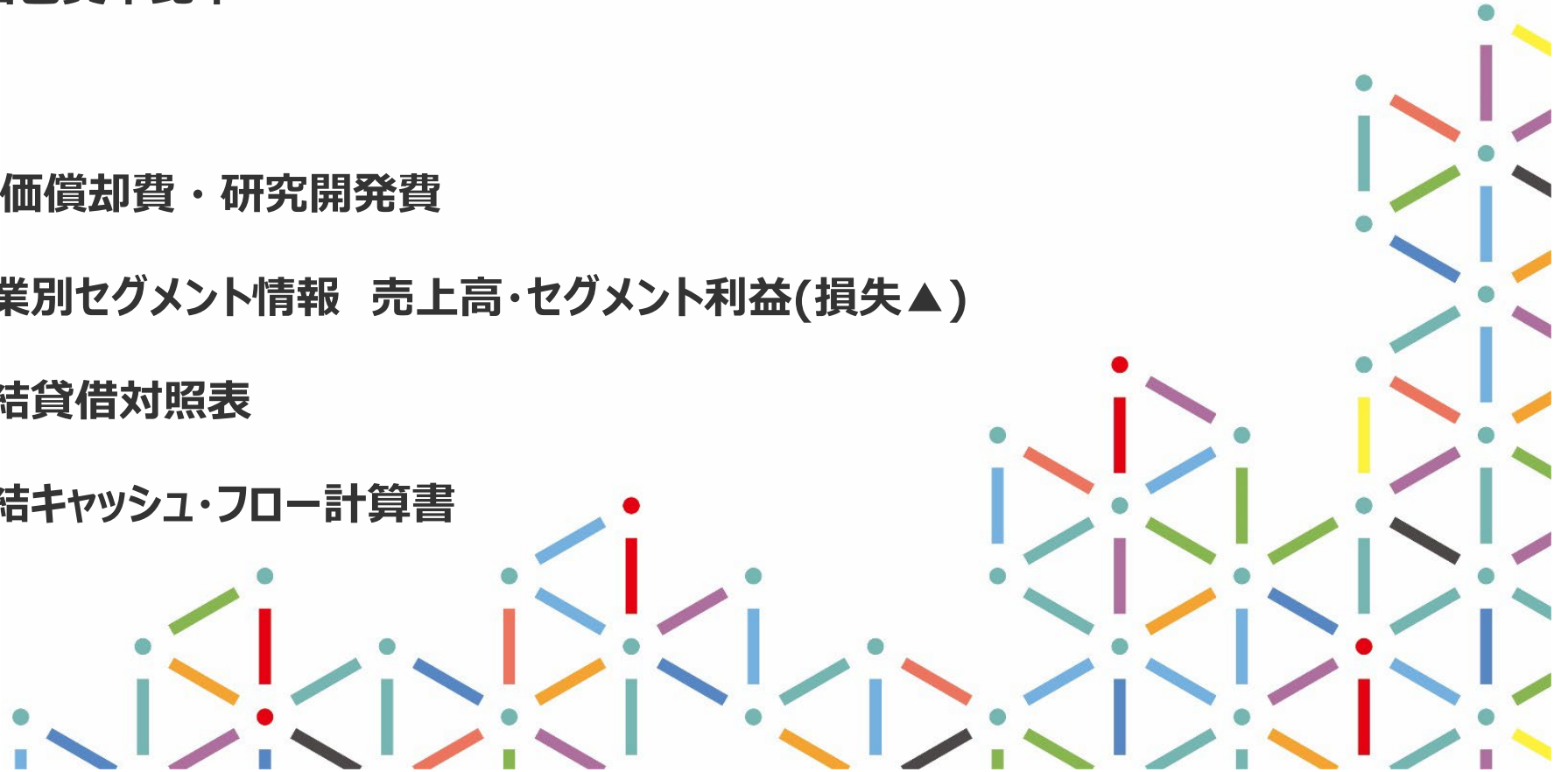
設備投資額・減価償却費・研究開発費

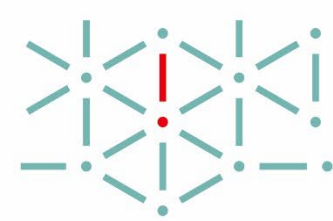
24年3月期 事業別セグメント情報 売上高・セグメント利益(損失▲)

24年3月期 連結貸借対照表

24年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

**TOKYO**ink





# 参考情報（会社概要）

TOKYOink

創立

100周年

生産拠点数

12拠点

会社名

東京インキ株式会社

代表取締役

堀川 聡（ほりかわ さとし）

上場区分（証券コード）

東京証券取引所スタンダード市場（4635）

設立

1923年（大正12年）12月

資本金

32億4,612万円

本社所在地

東京都北区王子1-12-4 TIC王子ビル

従業員数（※）

【連結】684人 / 【単体】555人 （※）2024年3月末時点

主要な事業

● インキ事業

【主要製品】オフセットインキ/グラビアインキ/インクジェットインク

● 化成品事業

【主要製品】着色剤マスターバッチ/機能性付与添加剤マスターバッチ/  
着色コンパウンド/機能性コンパウンド

● 加工品事業

【主要製品】ネトロン®/一軸延伸フィルム/土木資材/農業資材

● 不動産賃貸事業

北区王子本社ビル フロア賃貸/  
埼玉県さいたま市戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」ほか



## インキ事業

オフセットインキ、グラビアインキ、インクジェットインキを中心に、地球環境に配慮した高機能、高品質な印刷インキを提供しています。



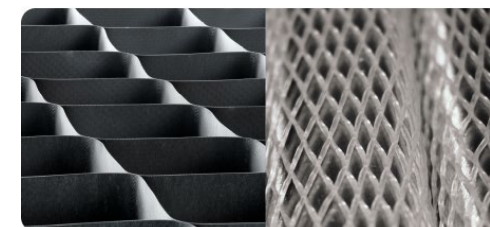
## 化成品事業

さまざまな生活シーンで活用されているプラスチック部品、製品に、マスターバッチをはじめとする色彩や機能を付与する各種高機能製品を提供しています。



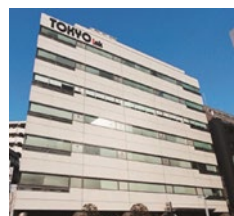
## 加工品事業

特徴ある加工技術を駆使したプラスチックネットや一軸延伸フィルムを中心に、さまざまな産業用途の包装資材、工業・農業資材、土木・環境資材を提供しています。



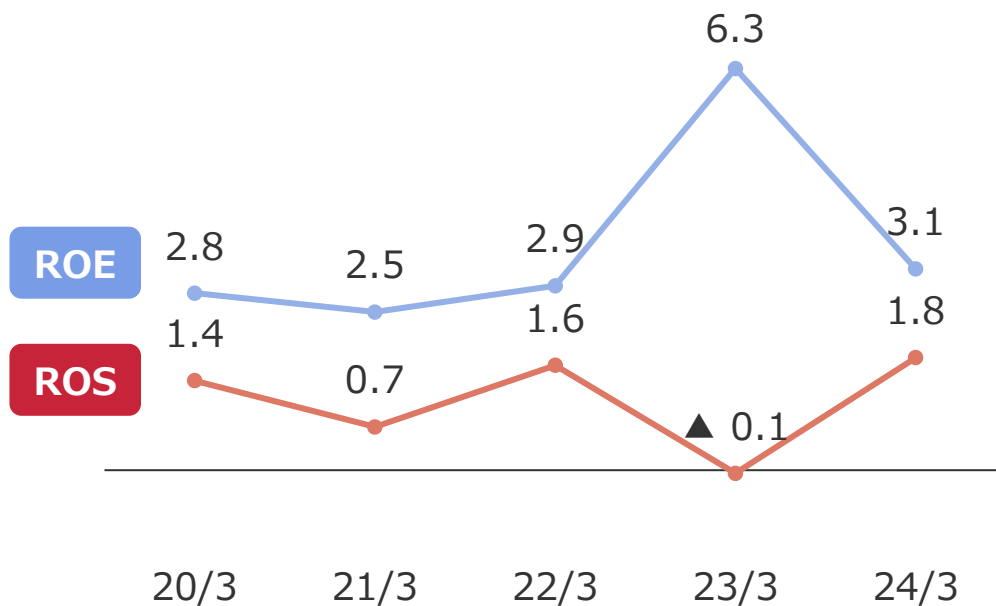
## 不動産賃貸事業

当社グループは、賃貸オフィスビル、ファミリー向けの賃貸戸建て住宅を保有しており、皆様に快適なオフィス環境、プライベート空間を提供しています。

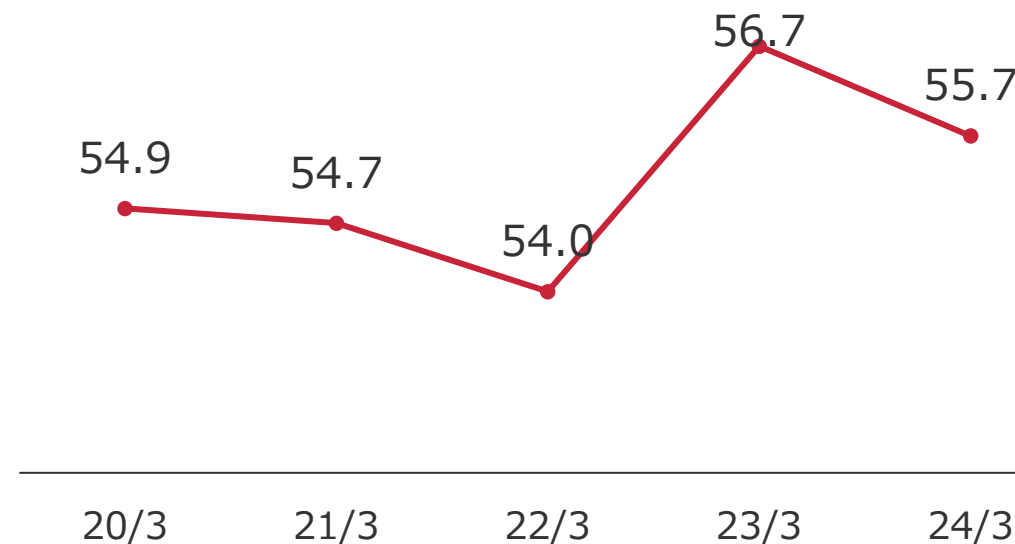


## ✓ ROE・ROS・自己資本比率

### ● ROE・ROS



### ● 自己資本比率

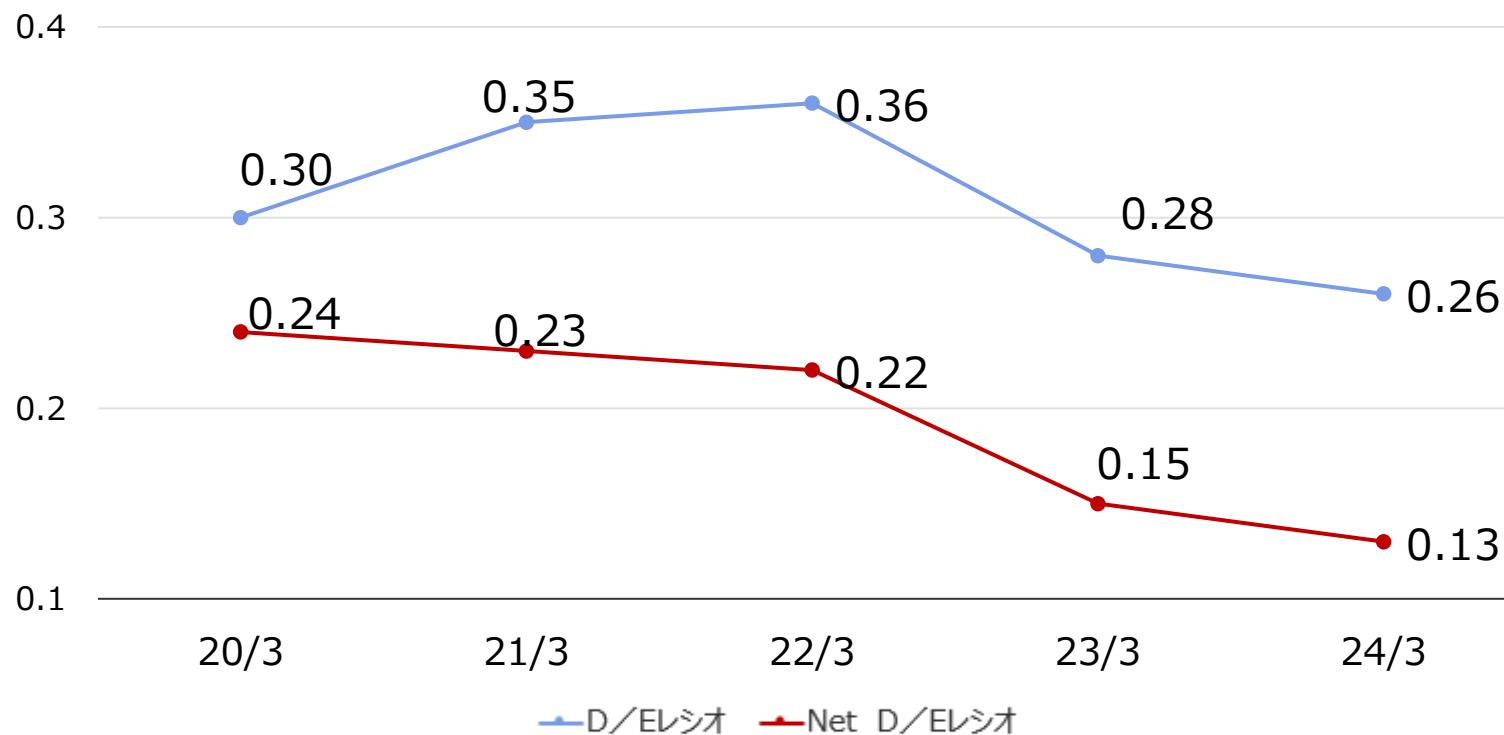


ROE (自己資本当期純利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ (純資産 - 非支配株主持分)

ROS (売上高営業利益率) = 営業利益 ÷ 売上高

## ✓ D/Eレシオ

- ・その他包括利益累計額の増加等による純資産大幅増加に伴い、D/EレシオおよびネットD/Eレシオは前年度より更に低下
- ・中期経営計画「TOKYOink 2024」における目標とする経営指標D/Eレシオ0.3倍以下を現時点で達成

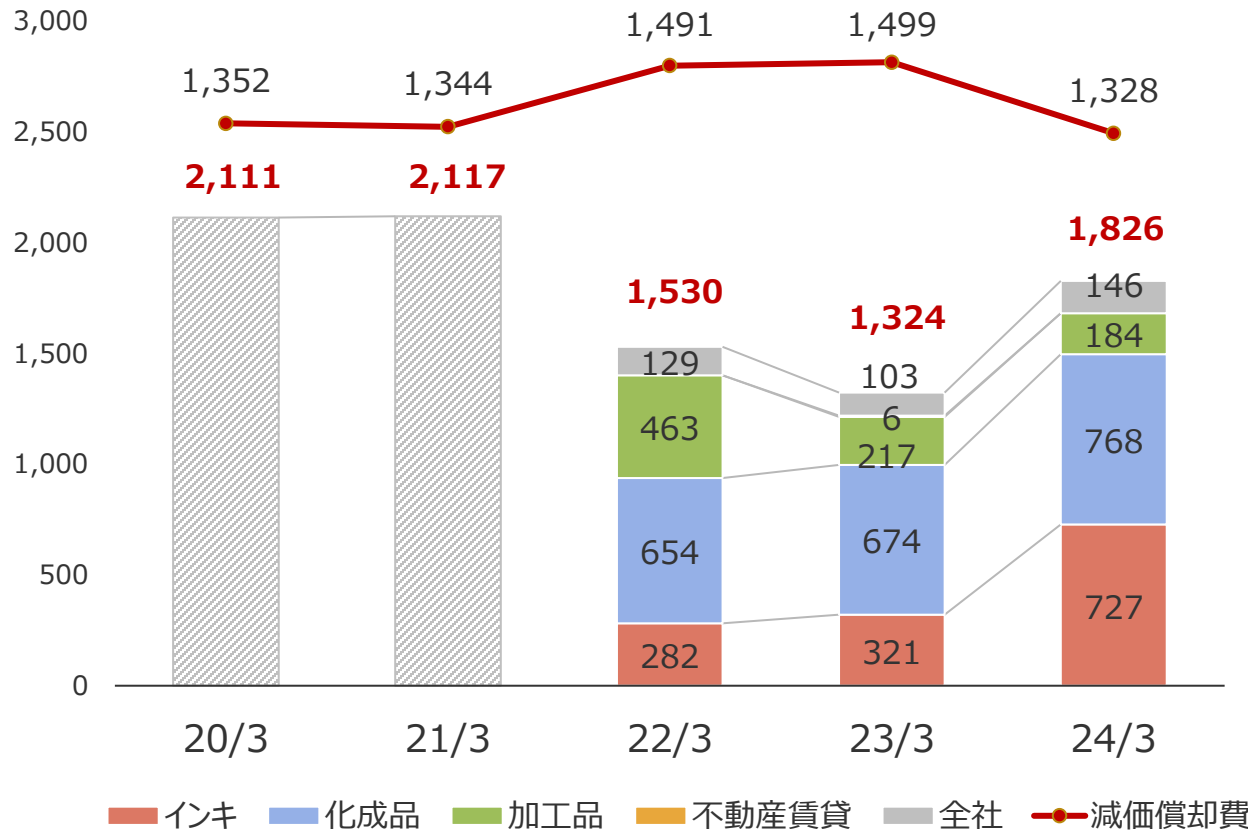


D/Eレシオ：有利子負債／自己資本

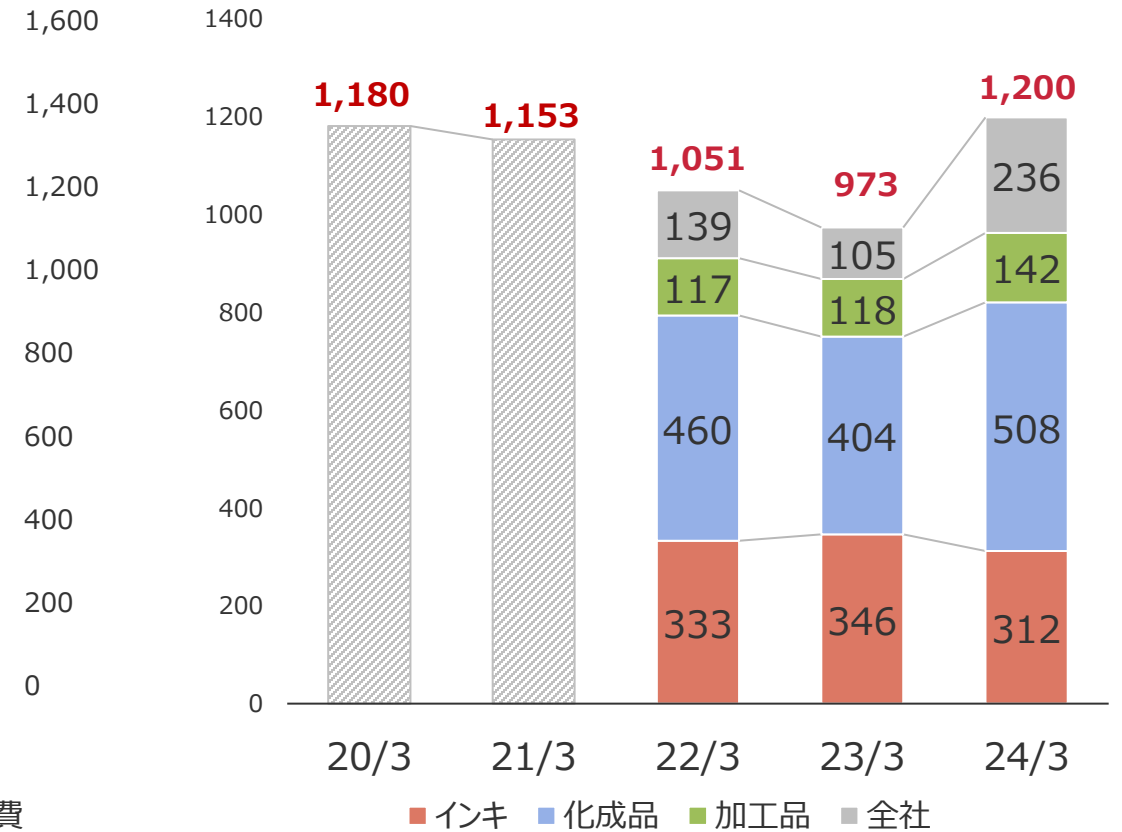
ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債(有利子負債－現預金)／自己資本

## ✓ 設備投資額・減価償却費・研究開発費推移

### ● 設備投資額・減価償却費



### ● 研究開発費



※23年3月期より全社費用の区分見直し実施に伴い、22年3月期における各事業の設備投資額・研究開発費を区分見直しの数値に置き換え  
20年3月期～21年3月期については当社グループ合計額を記載

# 参考情報

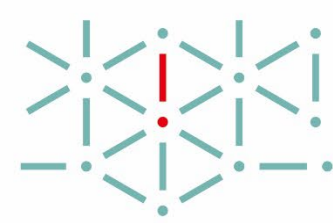
(24年3月期 事業別セグメント情報 売上高・セグメント利益(損失▲))

**TOKYOink**

(単位：百万円)

報告セグメント	売上高				セグメント利益(損失▲)			
	23年3月期 2023/3	24年3月期 2024/3	増減額	増減率 (%)	23年3月期 2023/3	24年3月期 2024/3	増減額	増減率 (%)
インキ事業	14,026	14,529	+503	+3.6	▲ 673	288	+962	-
化成品事業	21,283	21,350	+67	+0.3	419	190	▲228	▲54.5
加工品事業	8,014	7,953	▲60	▲0.8	524	516	▲8	▲1.6
不動産賃貸事業	82	88	+6	+7.8	48	55	+6	+14.1
セグメント合計	43,406	43,922	+516	+1.2	318	1,050	+732	+229.8
全社費用他 ※					▲ 340	▲ 281	+58	-
連結営業利益(損失▲)					▲ 21	768	+790	-

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費



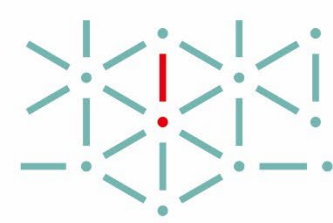
# 参考情報

(24年3月期 連結貸借対照表)

TOKYOink

(単位：百万円)

	23年3月期 23/3	24年3月期 24/3	増減額	増減率 (%)
流動資産	28,899	31,111	+2,212	+7.7
固定資産	18,897	21,354	+2,457	+13.0
有・無形固定資産	12,584	12,943	+359	+2.9
投資その他	6,312	8,410	+2,098	+33.2
<b>資産合計</b>	<b>47,797</b>	<b>52,466</b>	<b>+4,669</b>	<b>+9.8</b>
流動負債	16,498	18,105	+1,606	+9.7
固定負債	4,033	4,962	+929	+23.1
<b>負債合計</b>	<b>20,531</b>	<b>23,067</b>	<b>+2,535</b>	<b>+12.4</b>
<b>純資産合計</b>	<b>27,265</b>	<b>29,398</b>	<b>+2,133</b>	<b>+7.8</b>
<b>(自己資本比率)</b>	<b>56.69%</b>	<b>55.67%</b>	<b>▲1.02%</b>	<b>-</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>47,797</b>	<b>52,466</b>	<b>+4,669</b>	<b>+9.8</b>



# 参考情報

(24年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書)

TOKYOink

(単位：百万円)

摘要	23年3月期 2023/3	24年3月期 2024/3	増減額
I.営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	▲893	1,989	+2,883
II.投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	2,461	▲1,281	▲3,743
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	1,568	708	▲860
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,014	▲398	+1,616
現金同等物の期首残高	3,622	3,374	▲248
現金同等物の期末残高	3,374	3,734	+360



# TOKYO **ink**

東京インキ株式会社

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。  
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。

これからも、彩る世界をあなたと共に

